

# 株式会社田口建設

## 2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年12月1日～ 2023 年11月30日)



発行日： 2024年1月23日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11



**ABOUT US**  
私たちについて

昭和48年創業で令和6年で50周年を  
迎えます。

田口建設は加古川市周辺を中心に公共事業・民間事業を行っており、誠実・堅実をモットーに日々邁進しています。  
当社では情報通信技術を搭載したICT建機を使用しており、現場の安全性と効率を高めています。

## □ごあいさつ

株式会社田口建設は、建築、土木を主とした総合建設業を営み、これまで多くのお客様に支えていただけてまいりました。

この度、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一歩を踏み出しました。

今後一層全社員が環境保全の重要性を認識し、意識を高めることによって環境負荷の低減に積極的に取り組んでまいります。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

当社は、総合建設業の施工管理を通じて、私たちを取り巻く地球環境との持続的共存を目指し、社員一丸となって温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境保全、環境改善のための環境経営目標を定め、全従業員で「継続的な改善」に努めます。
2. 二酸化炭素排出量の削減の推進
3. 廃棄物の削減及び建設副産物のリサイクル推進
4. 水道使用量の削減
5. グリーン購入の推進
6. 環境に配慮した工事の推進
7. 地域貢献活動の推進
8. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
9. 本方針を全社員に周知徹底します。

制定日：2016年9月8日

改定日：2019年12月1日

**株式会社田口建設**

代表取締役 **田口明彦**

## □組織の概要

更新日：2024年1月23日

### (1) 名称及び代表者名

株式会社田口建設  
代表取締役 田口 明彦

### (2) 所在地

本 社 兵庫県加古川市平荘町新中山34番地  
資材置場 兵庫県加古川市平荘町里字横山1095-1

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 萩原 泰 TEL:079-428-1170  
担当者 田中 智恵 TEL:079-428-1170

### (4) 事業内容

建築工事、土木工事、造園工事、管工事及び設備工事

### (5) 事業の規模

売上高 7.2 億円  
主要工事件数 5 件

	本 社	資材置場	合計
従業員 名	9 名	無人	9 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	300 m <sup>2</sup>	1296 m <sup>2</sup>	1596 m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度 12 月 1 日 ~ 11 月 30 日

## □認証・登録の対象組織・活動

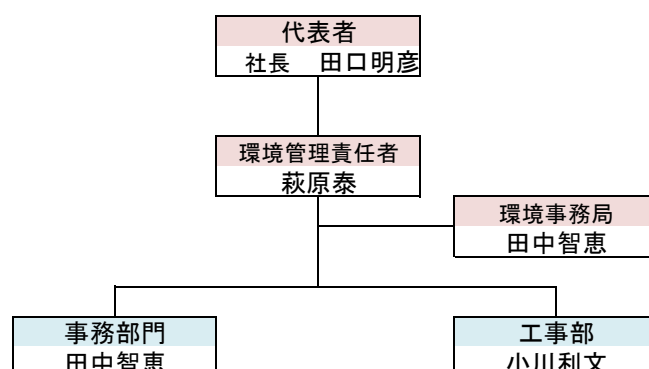
登録組織名： 株式会社田口建設  
対象事業所： 本 社  
資材置場

対象外： なし

活動： 建築工事、土木工事、造園工事、管工事及び設備工事

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2020年2月13日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	54,620	85,840	121,427
廃棄物排出量	トン	768	801	1,741.0
一般廃棄物排出量	トン	0.41	0.40	0.38
産業廃棄物排出量	トン	768	801	1,741
総排水量	m <sup>3</sup>	50	75	188

※二酸化炭素排出係数 0.309 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※二酸化炭素総排出量は、事務所及び建設現場の購入電力及び化石燃料(灯油、ガソリン、軽油、ガス(LPG))の総合計である。

※当社では、化学物質の使用と保管は一切ありません。

## □環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績) 目標達成率		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,611	2,532	2,301	○	2,532	2,532
	基準年度比	2022年	97%	110%		97%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	75,883	74,365	110,758	×	73,606	73,606
	基準年度比	2022年	98%	67%		97%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	78,494	76,898	113,060	×	76,139	76,139
				68%			
一般廃棄物の削減	kg	400	396	377	○	396	396
	基準年度比	2022年	99%	105.0%		99%	99%
建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	95%	100%	○	96%以上	96%以上
	95%以上	2022年		105%			
水道水の削減	m <sup>3</sup>	75	75	188	×	75	75
	基準年度比	2022年	100%	40%		100%	100%
化学物質の適正管理	溶剤管理	管理	管理	管理	○	-	-
	○	○	-	○			
環境に配慮した工事の推進	チェックリスト	環境に配慮した 工事チェックリスト の工事毎回収率	100%	100%	○	100%	100%
				100%			
課題を解決しチャンスを活かす社会貢献	%	-	100%	100%	-	100%	100%
			100%	100%			

※建設副産物の再資源化率の向上は、95%以上の再資源化率を目標としてスタートしているが、継続して100%を維持できている。

※電力による二酸化炭素削減目標に現場は含まない。

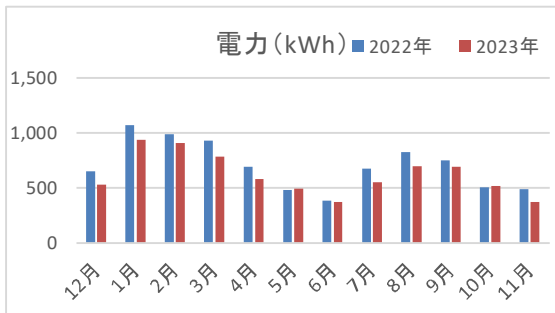


□環境経営計画の取組結果とその評価

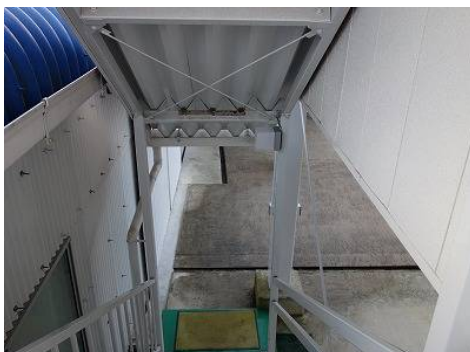
数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

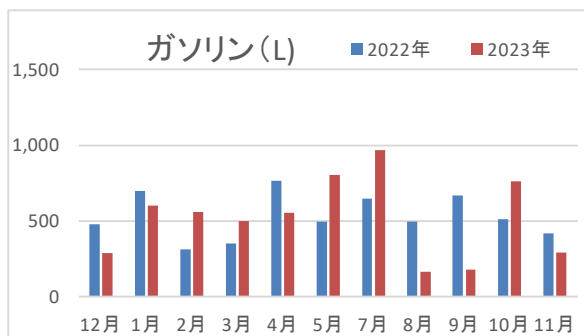
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用していない電源の消灯確認及びエアコンの設定温度の徹底に努めた。今後も継続して取り組む。 また、効率的な作業を心がけてできる限り残業を減らせるよう労務管理を行いながら、電気使用量が増えないように予防していきたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	×	
・エアコンのフィルター清掃を定期的に(月1回以上)行う	○	
・退社時は、OA機器の待機電力は切る	○	



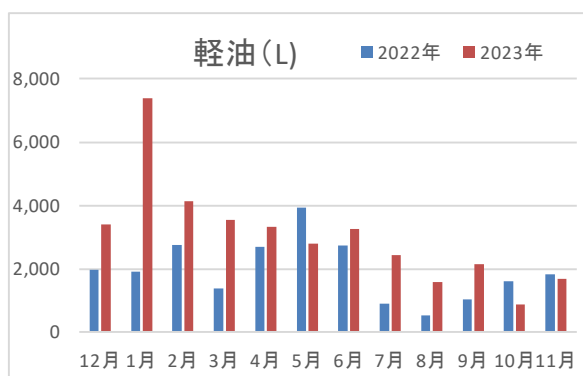
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	651	1,069	989	930	695	484	382	675	825	754	506	489
2023年	528	936	910	786	580	494	374	554	697	695	521	373



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	工事受注量、工事内容により現場での軽油使用量が大幅に変わってくるが、エコの取り組みは怠らずに行っていきたい。
・アイドリングストップ	○	
・エコドライブの心がけ	○	
・効率的な営業活動	○	
・空気圧、オイル等の定期点検	○	
・ICTの取組による重機燃料削減	○	



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	480	697	315	352	767	497	483	649	494	668	514	418
2023年	287	603	560	501	555	806	595	969	166	180	762	295

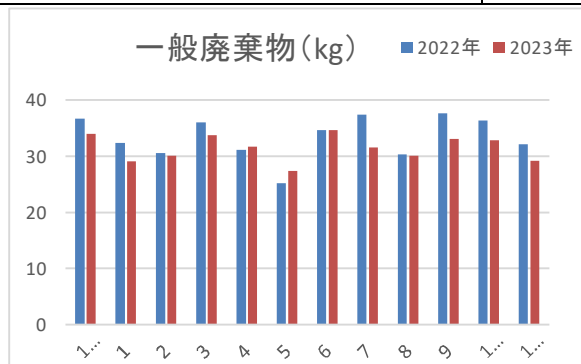


	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	1,974	1,919	2,758	1,384	2,694	3,925	2,742	898	535	1,040	1,611	1,832
2023年	3,418	7,386	4,135	3,553	3,321	2,803	3,272	2,437	1,598	2,151	878	1,698





一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	サーバーでファイル共有し、資料を各自のパソコンで確認出来るようにしている為、無駄な印刷が多少は減ってきている。更にペーパーレス化を進めていきたい。
・分別の徹底	○	
・裏紙の活用	○	
・データ化保存等ペーパーレスによる印刷物の	△	
・梱包材の再利用	△	

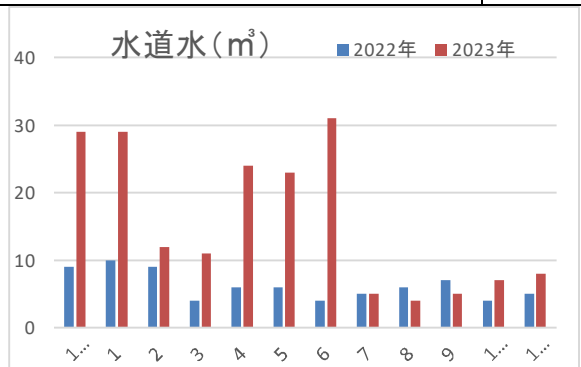


	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	37	32	31	36	31	25	35	37	30	38	36	32
2023年	34	29	30	34	32	27	35	32	30	33	33	29

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	引き続きリサイクルの向上に務めること。また、資材発注時の材料選択で材料の有効活用を心がける。
・分別コンテナ(ボックス)の設置	○	
・工事現場での分別の徹底	○	
・リサイクル可能な処理業者への委託	○	
・マニフェストを元に廃棄物の適正な処理を行う	○	



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年のデータの見直しをしたが、現場トイレ(不特定多数)の使用水量が増えてしまった為、目標未達成。来年度はイレギュラーの現場もないので、同じ目標で節水を継続して取り組んで行く。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・必要時以外の流水停止	○	
・トイレの擬音装置の活用	○	



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2022年	9	10	9	4	6	6	4	5	6	7	4	5
2023年	29	29	12	11	24	23	31	5	4	5	7	8

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性物質の表示の徹底	○	補修用ペンキの管理保管について、適正に管理されていました。今後も適正管理を推進していきます。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	



環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・環境に配慮した工事チェックリストを工事ごとに提出する	○	活動実施状況は良くできていた。今後も継続していきたい



課題を解決しチャンスを活かす社会貢献	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・技術の継承	△	今期ホームページは計画で終わったが、来期に立ち上げ、会社のPR、求人を積極的に取組み、人材不足などの課題を解決しチャンスを呼び込んでいきたい。また、会社周辺、現場周辺の清掃及び地域の清掃等の社会貢献を今後も継続して取り組んでまいります。
・事業拡大のための資金調達、人材確保	△	
・働き方改革	△	
・ホームページの作成(企業PR)	×	
・会社周辺の清掃	○	
・現場周辺の清掃	○	
・地域の清掃	○	



**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

確認日：2023年11月30日

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	対応状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)	遵守
建設リサイクル法	建設副産物の再資源化	遵守
騒音・振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
消防法	消防用設備の適正な管理	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検、廃棄の際の適正処理	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
自動車Nox・PM法	トラック、4ナンバーバン(軽自動車は除く)	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正な管理	遵守
小型家電リサイクル法	小型電子機器対象品目のリサイクル	遵守
資源有効利用促進法	パソコンのリサイクルによる資源の有効利用の促進を図る	遵守
兵庫県環境の保全と創造に関する条例・規則	届出全般(特定建設作業、解体作業)	遵守



環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。環境関連法規へのここ3年間、違反はありませんでした。又、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。取組期間中、外部からの苦情や要望等はありませんでした。





□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2023年11月24日	■実施場所: 現場作業所
■参加者: 全社員	■実施内容: 工事現場での火災対策 ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価: 工事の作業場所で火災が発生した想定で訓練を実施した。 問題なく訓練を終えることが出来た。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定: 油流出事故の発生	
■実施日: 2023年11月24日	■実施場所: 工事作業所
■参加者: 全社員	■実施内容: 油漏れ対策 ・流出事故対応、通報訓練
■評価: 問題なく訓練を終えることが出来た。 しかし、緊急事態には予想外の展開になることもあるので、焦らず冷静にどのような状況にも対処できるようにしていきたい。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2024年1月22日

<p>今年度は、燃料の消費と水道水の使用についてかなり多く目標達成が大幅に出来なかったが、売上が(工事实績)41%UPしたため、過去最高の受注に伴っていたことでやむを得ないと考えます。 そのため基準年の見直し(2018年度→2022年度に変更)を行った。今後もアイドリングストップ、エコドライブの心がけ等の取組みと水道水の節水を推進していきます。 今後とも、地道にコツコツと社員がワンチームとなって協力し、目標達成に向けて引き続き取り組んでいきたいと思ひます。</p>		
環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり